

「農村振興政策に係る地方裁量のあり方に関するセミナーin Shiga」

日時：2025年3月18日（火）13:30～17:00

会場：滋賀県農業教育情報センター小会議室

<プログラム>

1. セミナー趣旨説明

荘林 幹太郎（総合地球環境学研究所）



2. 基調講演「EUにおける農業環境支払 支払金額の計算と政策の革新」

ウーヴェ・ラタッシュ・ローマン 教授

（ドイツ・キール大学農業経済学部教授・総合地球環境学研究所客員教授）



3. 滋賀県はいかにして農業環境政策のフロントランナーとなったか？

（1）「魚のゆりかご水田プロジェクト」

田中 茂穂 氏（滋賀県農政水産部）

（2）「滋賀県による環境こだわり農業の制度的支援」

森野 真 氏（滋賀県農政水産部）

4. 参加者との対話方式による総合討論

5. 閉会



2025年3月18日（火）、滋賀県農業教育情報センター小会議室にて「農村振興政策に係る地方裁量のあり方に関するセミナーin Shiga」を開催しました。滋賀県で農業環境政策の実務に携わる方々にお集まりいただき、ヨーロッパの農業環境政策研究の第一人者であるウーヴェ・ラタッシュ・ローマン 教授（ドイツ・キール大学農業経済学部）から、ドイツの農業環境政策の立案および実施についてお話を伺いました。滋賀県農政水産部からも、滋賀県の農業環境政策の事例についてご紹介いただき、その後参加者のみなさんと地方自治体から見た日本の農村振興政策のあり方について議論を行いました。参加者からは、気候変動対策と生物多様性のトレードオフに対する考え方や、農業と環境を守るための費用負担についての考え方、ドイツにおける農村のインフラについての考え方についての質問が出ました。ローマン教授からは、日本におけるモニタリングの手法について質問がありました。なお、このワークショップは、科学研究費補助金（20K06303、代表：荘林幹太郎）により実施されました。